

阿寒摩周国立公園・弟子屈町

川湯温泉街まちづくりかわらばん

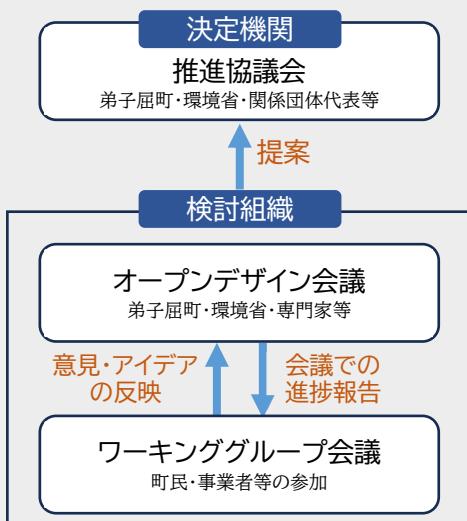
～「湯の川がつむぐカルデラの森の温泉街」の実現に向けて～

発行：2024年5月 川湯温泉街まちづくりマスターplan推進協議会

川湯温泉街景観ガイドライン策定(ルールづくり)に向けた議論を進めています

環境省が推進する国立公園満喫プロジェクトにおいて地域指定された 8 つの国立公園のひとつに阿寒摩周国立公園が選定されたことを受け、弟子屈町では、川湯温泉街の再整備に関する基本的な方針として、「川湯温泉街まちづくりマスターplan」を 2023 年 10 月にまとめました。

このマスターplanの推進のため、同年 12 月に「推進協議会」を設立し、専門家による「オープンデザイン会議」、町民による「ワーキンググループ会議」を開催して、「川湯温泉街景観ガイドライン」策定に向けた検討を行っています。



【ワーキンググループ会議 開催概要】※2月から月1回開催しています

- 日時 第1回:2月 27 日(火)、第2回:3月 21 日(木)、第3回:4月 15 日(月)
- 場所 川湯ふるさと館
- 参加者 各回約 20 名
- 事務局 弟子屈町観光商工課、環境省阿寒摩周国立公園管理事務所、街制作室(株)、(株)日本海コンサルタント

ワーキング会議での主な意見

第1回ワーキンググループ会議／2月27日(火)13:30～

テーマ① 「カルデラの森の温泉街」を実現するために必要だと思うルールや地域独自の取組は？

テーマ② テーマ①で出された意見の中で自ら実践したい、実践できそうなことは？

<必要なルール>

- 硫黄山を視対象とした高さ制限や、緑化、照明ガイドライン、景観の統一(看板等)
- 温泉街と国立公園の魅力の両立→エリア内でのゾーン分けを行う事で双方の魅力を際立たせる

<必要な取組>

- 地域でのコミュニケーション強化、歴史など住民の学び
 - 自治運営のためのまちづくり会社設立、ボランティア活動へのサポート
- など

第2回ワーキンググループ会議／3月21日(木)13:00～

テーマ 地域のルールとして取り組みたいことは？(まちあるきを踏まえてアイデア出し)

<ハード面のルール>

- 建物の高さは13m以下とし、周囲の山が見えるようエリアで分け、川沿いは建物を低くする。
- 建物の色彩は落ち着いた色で統一する。
- 屋外広告物は木の看板で統一感を出す。数の規制や看板照明のルールも必要。
- 照明で温泉街らしさを演出。照度は小さく。夜の動物や星空に配慮し、ゾーニングする。

<ソフト面のルール・取組>

- カルデラを感じられる高い場所を設定。ポイントごとに案内板・解説板等を設置。
 - ベンチ、休憩所を設置。歩いて回りたくなるような標示をする。
 - ゴミのポイ捨て・歩きタバコを禁止。エリアごとにゴミ箱、喫煙所を設置。
- など

第3回ワーキンググループ会議／4月15日(月)13:00～

テーマ 建築物や屋外広告物等に関する「ルール」の見直し案に対して意見交換

- 建物の高さを13m以下とすることは概ね了承。一部川沿いなどは低層に抑えることも検討する。
 - セットバック(壁面後退)は、後退部分に置くもの、置かないもののルールが必要。
 - 屋根形状は、雪処理を考慮し、陸屋根や片流れ屋根も認めてほしい。
 - 屋根や外壁の色彩は、具体的な数値基準を設けるべき。白色の壁はあってもよいのでは？
 - 緑化は地域性に配慮した樹種の選定が必要。管理方法も含めて検討が必要。
 - 外灯はエリアに応じた基準の検討が必要(星への配慮、そぞろ歩き)。
 - 屋外広告物は自ら光を放つ看板は禁止する。色彩は具体的な数値基準を設けるべき。
- など

今後の予定(月1回程度開催予定)

第4回ワーキンググループ会議

- 日時 2024年5月21日(火)13:00～
- 場所 川湯ふるさと館
- 内容 景観ガイドライン策定やルールの具体化に向け、意見交換を行います
※初めての方も是非ご参加ください (事前に電話でご連絡ください)

どのようなまちを目指すのか、
地域の価値を高めるために
どんなルールや取組が必要なのか、
一緒に考えていきましょう!!

お問い合わせ先

弟子屈町観光商工課 観光振興係
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号
TEL:015-482-2940
FAX:015-482-5669

川湯温泉街まちづくり
マスター・プランに関する
各種資料や推進状況を
お知りになりたい方は、
弟子屈町役場公式ホームページもご覧ください。

